

第4節 秘書広報課

〔総括概要〕

秘書広報課の主な分掌事務は、秘書関係及び広報広聴関係業務である。

秘書関係業務については、市長のトップマネジメントが十分発揮できるよう秘書機能の充実に努めた他、市政功労者等の表彰や市内各団体等との円滑な交流推進を図るための新春賀詞交歓会などを、関係団体等の協力の下実施した。また、新市発足5周年の節目を迎えることを市民の皆様とともに祝い、より一層の市勢の発展に向けた契機とするため、11月13日に栃木文化会館において栃木市制施行5周年記念式典を挙行了した。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等の活用、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、見やすく、親しみやすいA3判で、毎月1回発行した。また、ホームページに加えてSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した広報活動として、公式ツイッター及び公式フェイスブックによる広報を行った。さらに、11月に公設民営方式として開局した栃木市コミュニティFM「FMくから857」を活用し、身近な地域情報や災害・防災情報の配信を行った。

広聴業務については、まちづくり懇談会ふれあいトーク、市長へのアイデア直通便などを実施し、市政に関する意見、提案を広く求めた。

栃木市マスコットキャラクター活用業務については、平成26年4月5日に誕生した栃木市マスコットキャラクターとち介を広くPRすることで、市民の一体感の醸成や栃木市の知名度の向上に努めた。とち介の派遣業務やデザイン申請の受付及び承認を行った他、前年に引き続き「ゆるキャラグランプリ」に参加し、1,727キャラクター中6位を獲得した。

秘書担当

- 1 市長のホームページの管理
 - ・市長のメッセージの更新 随時
 - ・市長の主な動きの更新 月1回（各月ごとにその翌月に写真で紹介）
 - ・市長の交際費支出状況の更新 月1回（各月ごとにその翌月1日頃）
- 2 下野新聞社への市長日程の提供
毎月下旬に翌月の市長日程の抜粋を報告した。
- 3 表彰
市政功労者、徳行者及び市民栄誉賞受賞者の表彰式を開催した。
 - ・実施日 11月25日（水）

・場 所 市役所 正庁

・市政功労者表彰（敬称略）

表彰条例第3条第1項による表彰（各種委員等における永年在職者）

財産区議員	在職 12 年	岩 本 良 弘
財産区議員	在職 12 年 11 か月	寺 内 克 巳
人権擁護委員	在職 12 年	寺 内 み つ
人権擁護委員	在職 12 年	野 澤 千代子
学校医	在職 24 年 7 か月	齋 藤 伸 夫
学校歯科医	在職 20 年 7 か月	阿 部 真 也
学校歯科医	在職 20 年 7 か月	植 原 雅 章
学校歯科医	在職 20 年 7 か月	清 水 彰
学校歯科医	在職 20 年 7 か月	古 澤 正 徳
固定資産評価審査委員	在職 12 年 5 か月	落 合 晃 雄
消防団員	在職 21 年 7 か月	飯 島 寿 亮
消防団員	在職 27 年 7 か月	小 藤 貞 夫
消防団員	在職 20 年 7 か月	中 田 久 喜
消防団員	在職 20 年 7 か月	藤 沼 和 美

・徳行者表彰（敬称略）

表彰条例第4条第1項による表彰

徳 行	五月女 博 勇
徳 行	酒 巻 文 司
徳 行	島 田 久 子
徳 行	大陽ステンレススプリング株式会社
徳 行	栃木信用金庫
徳 行	豊 城 耕 一
徳 行	中 村 和 男
徳 行	横 田 勝
徳 行	公益財団法人 横山郷土館

・市民栄誉賞表彰（敬称略）

表彰条例第5条による表彰

市民栄誉賞（第40回全日本ライフセービング選手権大会サーフレース、第27回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会 50メートルマネキンキャリー優勝）

大 島 圭 介

市民栄誉賞（第36回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 85歳から 89歳の部男子 100メートル走、200メートル走、400メートル走優勝）

石 田 保 之

4 新春賀詞交歓会

・実 施 日 1月5日（火）

- ・場 所 サンプラザ
- ・主催団体 市・市議会・栃木商工会議所・大平町商工会・藤岡町商工会
都賀町商工会・西方商工会・岩舟町商工会・下野農業協同組合
上都賀農業協同組合・栃木市自治会連合会
- ・参加者数 390人

栃木市171人、市議会33人、商工会議所82人、 商工会41人（大平11人、藤岡11人、都賀5人、西方5人、岩舟9人） J A しもつけ50人、J A かみつが2人、自治会関係11人

5 栃木市制施行5周年記念式典

- ・開催日 11月13日（金）
- ・場 所 栃木文化会館
- ・来場者数 約810人
- ・市の木、花、鳥及び市歌を発表した。
- ・喜多川歌麿「深川の雪」高精細複製画を披露し、記念講演を行った。

広報広聴担当

1 広報関係

(1) 広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を発行し、市政のPRに努めた。

ア 広報とちぎ

- ・発行部数 5月号～4月号 毎月1回 53,300部
 関東・東北豪雨災害特別号 10月12日発行 60,000部
- ・仕 様 A3判2つ折り

号	ページ数		号	ページ数	
	4色	2色		4色	2色
61(5月号)	4	12	67(11月号)	4	12
62(6月号)	4	12	68(12月号)	4	12
63(7月号)	4	12	69(1月号)	4	12
64(8月号)	4	12	70(2月号)	4	12
65(9月号)	4	12	71(3月号)	4	12
66(10月号)	4	12	72(4月号)	4	12
特別号	4				

イ 広報とちぎ点字版

- ・発行回数 定期6回（2か月に1回）
- ・発行部数 27部
- ・仕 様 B5判点字用紙（約37ページ）

ウ 声の広報とちぎ

朗読ボランティアあかり及び朗読グループいずみの協力を得て発行

- ・発行回数 毎月1回 年間12回
- ・発行時期 広報とちぎ発行日～数日後（カセット・CD）

エ 関東・東北豪雨災害の支援情報チラシの発行

関東・東北豪雨災害の支援情報を掲載したチラシを作成し、市民に広く周知を行った。

- 発行日 第1回 9月27日
第2回 10月4日
第3回 10月20日
第4回 10月25日
第5回 11月1日

発行部数 各60,000部

(2) ホームページによる広報

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、公式ホームページを開設し、市政情報やイベント、観光案内、生活ガイド等の情報を積極的に市内外に発信し、広報活動のより一層の充実に努めた。

- ・アクセス件数（ページビュー数）5,367,352件

(3) SNSを活用した広報

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報を行った。

市ホームページのトップページに公式ツイッターと公式フェイスブックのバナーを設け、簡単にアクセスできるようにした。また、Youtube、Instagramを開設し、多様な媒体を通じて、情報発信の強化に努めた。

投稿内容は、行政情報、観光情報、とち介情報、災害情報等。

- ・投稿数 フェイスブック730件 ツイッター508件 Youtube4件 Instagram109件

(4) テレビ・ラジオ等による広報

ア CATVコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。

主な番組

- ・栃木市長通信

広報とちぎの「市長通信」のケーブルテレビ版。市政情報等を市長から伝える。5分番組で、月毎にテーマを変えて放送した。（週5日、1日5回程度放送）

- ・生活文字情報

文字スクロールによる生活情報で、毎週月・火・水・金曜日に12分間放送した。（1日6回）

- ・エリア便

イベント等の告知情報で、毎週月・木曜日に1分前後放送した。

- ・新春特別番組「新年のご挨拶 栃木市」

10分番組で、1月1日（金）～3日（日）に放送した。

イ とちぎテレビ

市政のPRを行うため、(株)とちぎテレビに番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「2016年 わが街発！」

30分番組のうち10分間で、1月1日(金)、2日(土)に放送した。

ウ 栃木放送(CRT)

市政のPRを行うため、(株)栃木放送に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」

10分番組で、1月1日(金)、2日(土)に放送した。

エ エフエム栃木

市政のPRを行うため、(株)エフエム栃木に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「新春市長インタビュー」

10分番組で、1月12日(火)に放送した。

(5) コミュニティFM

市が施設整備を行い、ケーブルテレビ(株)が運営を行う公設民営方式で、栃木市コミュニティFM「FMくらら857」を開局した。市からは、災害情報・防災情報の配信や、身近な地域情報の発信することで、市民が豊かで安心して暮らせるまちづくりの推進を図った。

ア 市の広報番組

- ・「とち介PのHAPPY TOWN」 平日の11時～11時54分
- ・インフォマーシャル 市からのお知らせを生放送で、毎日4回放送した。
- ・CM 市からのお知らせを録音し、毎日6回放送した。

イ 災害放送

- ・災害発生時に備えるため、毎週木曜日11時に緊急割込み放送の試験放送を行った。

(6) 報道機関等への情報提供

ア 記者会見

- ・定例記者会見 毎月1回
- ・予算記者会見 年1回
- ・臨時記者会見 随時(4回)

※その他の報道機関へは、定例・臨時記者会見資料を随時提供

イ 市政情報の提供(FAXにより随時)

- ・情報提供件数 542件

(7) 広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員(庶務担当TL)を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための研修を行った。

- ・実施日 2月23日(火) 参加者158人(広報活動推進員、各課長)
- ・テーマ「コミュニティFM『FMくらら857』の活用について」
- ・講師 ケーブルテレビ(株) 高田光浩氏 大川進氏 石田美也子氏

(8) 栃木市ふるさと大使

本市の魅力を広く効果的に情報発信することと、本市の知名度及びイメージの向上並びに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使制度」を設け、栃木市にゆかりのある方に委嘱している。

栃木市ふるさと大使 12人（石川恋氏、古今亭志ん橋氏、澤村拓一氏、春風亭柳橋氏、寺内崇幸氏、富田晋伍氏、橋本章氏、冬木れい氏、山田五郎氏、山田昌彦氏、吉川真氏、渡辺俊介氏）
1団体（栃木ウーヴァフットボールクラブ）

2 広聴関係

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見、提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図った。

・ 栃木地域

実施日	出席者（人）	会場
8月 3日（月）	77	皆川公民館
8月 5日（水）	75	第5地区コミュニティセンター
8月 6日（木）	105	吹上公民館
8月18日（火）	82	第4地区コミュニティセンター
8月19日（水）	84	第6地区コミュニティセンター
8月21日（金）	71	国府公民館

・ 大平地域

実施日	出席者（人）	会場
7月24日（金）	63	大平総合支所
7月27日（月）	75	大平東地区公民館
7月30日（木）	59	大平隣保館

・ 藤岡地域

実施日	出席者（人）	会場
9月 30日（水）	48	藤岡遊水池会館
10月 1日（木）	57	部屋地区公民館
10月 2日（金）	39	赤麻地区公民館
10月 5日（月）	57	三鴨地区公民館

・ 都賀地域

実施日	出席者（人）	会場
10月14日（水）	62	赤津小学校体育館
10月16日（金）	55	家中小学校体育館

・ 西方地域

実施日	出席者（人）	会場
10月19日（月）	53	真名子夢ホール
10月21日（水）	64	西方総合文化体育館

・岩舟地域

実施日	出席者（人）	会場
7月1日（水）	73	静和地区公民館
7月2日（木）	77	岩舟公民館
7月3日（金）	80	岩舟健康福祉センター

(2) 市長へのアイデア直通便

市民から、市政に対する幅広いアイデアや意見・提案等をうかがい、施策に反映させるとともに、市民との協働・共生のまちづくりに資するため、広報とちぎに料金受取人払いの「市長へのアイデア直通便」を掲載し、投書受付を実施した。

・受付通数 24通（提案件数 44件）

(3) 市政メール箱（電子メール）

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

・投書件数 164件

(4) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

・投書件数 58件

(5) 市政に関する意見の郵送及びFAXの受付

・投書件数 24件

(6) 来庁やお電話による市政に関するご意見の受付

・ご意見数 10件

(7) パブリックコメント

重要な施策の策定の過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、栃木市パブリックコメント手続条例を制定し、パブリックコメント（市民意見提出制度）を実施した。

・実施件数 12件

3 マスコットキャラクター活用関係

(1) とち介派遣事業

栃木市マスコットキャラクター「とち介」を市主催のイベントや学校行事、市内外の地域イベント等に派遣し、とち介自身のPRと共に市民の一体感の醸成に努めた。

・派遣回数 496回（市内454回 市外42回） 月平均 約45回

(2) デザイン申請・承認手続き

とち介のデザインを用いた商品等の、デザイン使用申請の受付及び承認を行った。

・承認件数 211件（販売品98件 非売品113件）

- ・商品 キーホルダー、缶バッチ、マグネット、クリアファイル、ストラップ等
- (3) ゆるキャラグランプリ2015への参加
- 全国のキャラクター1,727体がエントリーして人気投票を行う、「ゆるキャラグランプリ2015」に参加し、前年（8位）を上回る第6位を獲得した。
- ・インターネット投票期間 8月17日（月）～11月16日（月）
 - ・決戦投票開催期間 11月21日（土）～11月23日（月・祝）
 - ・決戦投票開催地 静岡県浜松市 渚園特設会場
 - ・結果 1,727キャラクター中第6位（県内1位） 獲得票数 992,524票
- (4) とち介関連のイベント開催
- とち介がメインとなるイベントを開催した。
- ・とち介のお誕生会 4月5日（日） 栃木市立栃木中央小学校体育館
来場者約1,500人
 - ・ゆるキャラグランプリに挑むとち介の決起大会 8月18日（火）
 - ・とち介のゆるキャラグランプリ2015結果報告会 11月25日（水）
 - ・とち介のキャラ弁コンテスト 8月20日（木）～9月24日（木）
応募総数25作品 最優秀賞1点 優秀賞3点
 - ・とち介絵はがき似顔絵コンテスト 9月20日（日）～10月20日（火）
応募作品142作品 最優秀賞1点 優秀賞10点
 - ・とち介のクリスマス会 12月23日（水・祝） 栃木市役所本庁舎1階市民スペース
 - ・とち介のスタンプラリー 2月19日（金）～3月31日（木）
市内10か所にスタンプポイントを設け、スタンプラリーを行った。
参加総数303人 内訳 特賞（スタンプ10個全て）209人
A賞（6個以上）40人 B賞（3個以上）54人
- (5) マスコットキャラクター応援基金の設置
- マスコットキャラクターの活用を推進する事業の財源に充てるため、「栃木市マスコットキャラクター応援基金」を設置している。また、栃木市ふるさと納税寄附金のコースに「マスコットキャラクター活動支援事業」を設置し、寄付を募った。
- ・受入件数／受入額 285件 6,106,769円
（内訳 マスコットキャラクター応援基金への寄付 4件 61,769円
栃木市ふるさと納税への寄付 281件 6,045,000円）